



輝く  
恵那人

216人目



大井町鴨田

伊藤 千愛さん (17歳)

□プロフィール

中京高等学校に通う3年生。幼少の頃からダンス一筋。食べることが大好きで、寿司が好物。ミニチュアピンシャーの愛犬リラちゃんと一緒に過ごすことが何よりも癒やし。



▲世界大会出場時のダンスの動画



▲世界大会に向けての激励会にて。左から伊藤千愛さん、西尾美心さん(山岡町)、堀井日菜さん(岩村町)

今年7月30日から8月1日にかけて、米国カリフォルニア州でダンスの世界大会「WORLD OF DANCE」が開催された。この大会は、世界50以上の都市から集まったトップチームが世界一を目指す世界最高峰の大会。この大会で日本のチーム「Ark」が4位に輝いた。選抜メンバー17人で構成されているチームの、ダイナミックでキレイのある圧巻のパフォーマンスは、見る者を独自の世界に引き込んでしまう。

そのチームに恵那市出身の高校生が3人参加していた。その中の一人が伊藤千愛さんだ。「初めての世界大会でも緊張したけど、世界の舞台でダンスをするのは楽しかった」と笑顔で話す。

伊藤さんは、友人の影響でダンスを始め、幼い頃から地元のダンススクールに通い、小学校4年生の時にもっと上のレベルを目指すため、名古屋のダンススクールに籍を移した。市出身の他のメン

バーも幼い頃から一緒にダンスに励んできた。朝から晩まで練習に明け暮れた。選抜メンバー入りを目指すも選ばれず、悔しくて泣いた日もあった。自分の何がいけないのかと悩み、苦しい日が続いた。諦めかけたこともあったが、自分を信じ努力を続けたことが実り、見事選抜メンバー入りを果たすことができた。「先生から直接、選抜メンバーに入らないか? と連絡をもらい、すごくうれしかった」とその時を振り返り、今回の世界大会の舞台に立てた喜びをかみしめる。

チームの活動は、みよのみのり祭の出演を最後に、メンバーはそれぞれ新たな世界を歩んで行く。伊藤さんは、夢であるダンスのインストラクターを目指し、市出身のメンバーと共にダンススクールを開きたいと考えている。「ダンスをする人を増やし、ダンスの楽しさを伝えたい」と笑顔で話し、意気込みを新たにしていた。

# ダンスの世界大会で4位 ダンスの楽しさを伝える



その他の話題もウェブサイトに満載

9/2

## 高齢者宅などに 住宅用火災警報器を配布



(一社)消防機器協会社会貢献委員会が実施する住宅用火災警報器等の配布モデル事業に岩村町が選ばれ、岩村振興事務所で進呈式が行われました。岩村町自主防火隊が追加購入した分も合わせ、118個の火災警報器が町内の高齢者宅などに配布されます。

8/23

## 全国山城サミット記念切手を えなてらすなどで販売



全国山城サミット恵那大会実行委員会と日本郵便(株)東海支社東美濃地区連絡協議会が連携し「第29回全国山城サミット恵那大会開催記念オリジナルフレーム切手」を制作しました。記念切手は市内七つの山城の御城印などがあしらわれ、1枚1枚違うデザインが楽しめます。

9/4

## 市内で避難所開設訓練などを実施



▲体育館全体の様子

大雨が起因となる災害が発生した場合を想定した市総合訓練が行われ、市内各地で避難所開設訓練などを行いました。武並町では武並小学校児童や地元消防団などが参加して避難所開設訓練を実施。同体育館で、総合受付やテントを用いた避難者スペースの設置、障がい者や高齢者のための段ボールベッドを素早く組み立てていきました。



▲仮設トイレの設置

訓練に参加した6年生の宮地七海さんは、「みんなで協力して訓練ができた」、中家瑠伽さんは「実際の災害のときに、今回の訓練を生かしたい」と振り返りました。

9/14

## 「挑戦と経験を力に」 メタリスト堀島選手が講演



北京冬季五輪フリースタイルスキー男子モーグル銅メダリストの堀島行馬選手が、山岡中学校で講演をしました。「壁にぶつかった時、一生懸命に取り組んでいた過去の自分が、今の自分を支え、未来への力をくれる」と穏やかな口調ながらも強い思いを生徒たちに語りました。

9/7

## 教室が宇宙に変身 月の形と太陽の関係を学ぶ



大井第二小学校6年生68人が「月の形と太陽」をテーマに、宇宙について学びました。教室を宇宙に見立て、特別講師の大井文高氏が、照明やボールを使って月の満ち欠けを実演。授業を受けた玉置結月さんは「月の見え方が変わる実演が分かりやすかった」と話しました。